

関東コイルセンター（CCC）工業会の定時総会で5期目（9年目）の会長統投が決まった藤澤雄会長（藤澤鋼板会長）。内需減少や2024年問題、人手不足などさまざまな課題が山積する中、足元では「加工賃の適正化」が最重要テーマとなっている。CCC業界の現状について聞いた。

——全国CCC工業組合の調査や関東CCC工業会の経営実態アンケートによると、市場環境は4月以降、下振れ傾向が止まりません。

「23年度第4四半期から需要は減速傾向にあった。市場規模の大きい自動車分野は自動車メーカー各社の認証不正問題の影響が尾を引いている。また4月以降は建設分野で労働時間の上限規制、

コイルセンター業界の現状と課題



「加工賃適正化」最重要テーマに意識変革急ぐ

いわゆる「働き方改革」が実施された。施工方の不足に伴う工期の遅延や計画見直し・先送りなどが頻発し、建材分野の需要は以前に比べて低水準にある。当工業会のアンケートでも需要が回復するのは早くとも第3四半期（10～12月）以降との回答が多かった。上期は停滞状態が続くとみて、19年度の出荷量は160万トンを下回ったと推定されている。

「少ない扱い量でトントでも加工賃の改善は当たりの利益率を引き上げ、少くも前年並にしたい。コロナ前のように継続的に利益を確保が、まだ道半ばだ。公停滞状態が続くとみて、19年度の出荷量は160万トンを下回ったと推定されている。」

「少ない扱い量でトントでも加工賃の改善は当たりの利益率を引き上げ、少くも前年並にしたい。コロナ前のように継続的に利益を確保が、まだ道半ばだ。公停滞状態が続くとみて、19年度の出荷量は160万トンを下回ったと推定されている。」

関東コイルセンター工業会 藤澤雄会長（会 長）

業界は事業継続が危ぶまれる。設備機械の修繕・更新費、人材確保の労務費、スキッドや梱包など需要家のヒモ付き取引の副資材価格、さらにはの分野では大手自動車運賃に至るまで、あらゆるコストアップに直面している。切実な問題である。この先のCCC業界の存続、事業継続に危機感を抱いている。大手ユーザーの柔軟な姿勢に敏感に反応し、我々も加工賃の適正化を真摯に取

鋼板製品の供給網が存続危機に

引先各社に訴えていく必要を共通課題とし、我々CCC業者もこれまでの取引慣習から脱却して意識を「パートナーシップ価値創造の転嫁円滑化施策パッケージ」や原材料、エネルギーコスト、労務費の転嫁要請、また優先的地位の乱用による大手企業の変動に促して「鋼板サプライチェーンの中核を担うCCCがなくなると、困るのはユーザー」として、困るのはユーザー。コロナ時に半導体手鉄鋼メーカー、そして商社も過去最高水準の利益を上げた。旧態依然の商慣習を打破する我々CCC業者を取り巻く環境は厳しさを増している。鉄鋼適正に原資が還元されるべきであり、富の配分を間違えなく、供給網の崩壊、日本のモノづくり産業が根底から崩れかねない。運賃や木材のスキッド、梱包用のシートなど「鋼板サプライチェーンの値上がりも深刻である」と、商社ら事業者とともに「加工賃の適正化」を訴えている。（伊藤 健）

JFE建材名古屋 新生「中部地区相模会」が総会 代表に松岡氏（鉄鋼第二部長）

JFE建材名古屋支店（支店長・田中謙三氏）は18日、フェンス・道路・土木・防災製品の特約店組織「中部地区相模会」の定期総会を名古屋観光ホテルで開催。旧フェンス中部特約店会と旧中部地区相模会が統合後、切

「捉えたい」などと挨拶した。松岡氏は「名誉ある役職に就き大変光栄であり、会員企業の皆さまとともに協賛活動に携われることはうれしい。建設業界はさまざまな課題に直面しているが、JFE建材は、冒頭、主催者を代表するが、JFE建材は、資入江金属工業社長、写真1は「日鉄物産システム建築の40年を祝う」と題して、東

「軽便リース業協会 関東支部で講演会 軽便リース業協会 関東支部（支部長・宮内大介明治商工社長）は19日、東京都千代田区の霞山会館で講演会を開催し、会員企業の関係者ら約100人が

参加した。写真2は、会場では、元NHKキャスターでメディアアンパロモーション代表取締役の牛窪万里子氏が「Z世代との信頼を築くためのコミュニケーション」をテーマに講演。開会に先立ち、来賓挨拶では志村太一アイ・テック取締役専務執行役員が登壇。需要低迷が続く鉄骨市場に「技術力などの価値がしっかりと顧客に認められて、行き過ぎた価格競争に陥らないことが大切」と強調。人手不足や脱炭素への対応の必要性を説き「同じ価値観や考えを持つ仲間と連携

一定尺販売開始 角鋼・広幅平鋼 検索 株式会社 千葉県浦安市港28 047(352)3181 0276(56)2460 0467(76)0211 0223(29)2460 v.nishimura-kogyo.co.jp/

日鉄物産 システム建築 「協力会総会開催

資入江金属工業社長、写真1は「日鉄物産システム建築の40年を祝う」と題して、東



講演後には懇親会があり、参加者間の交流を深めた。

株式会社 冷延・熱延（酸洗）レベラー・スリット

「ISO 9001:2015、ISO 14001:2015 認証取得」 鋼板の加工並びに板金加工品の設計・開発及び製造 OHMI

2024/7/22鉄鋼新聞 暑中お見舞い 申し上げます